

美濃加茂市タレントマネジメントシステム仕様書

画面構成及び操作方法	
1	画面レイアウト・画面構成はわかりやすく、直感的な操作ができ、誰にでも操作しやすいものであること。
2	各画面の情報項目について、追加、削除や位置の変更が管理者ユーザーにて行えること。
3	各画面、各情報項目に対して、閲覧・編集権限を柔軟に設定できること。
4	各個人のページにおいて、PDFファイルなどを添付、保管し、画面上で閲覧ができること。
5	各個人のページにおいて、所属、職名、在籍年数、勤続年数、発令履歴等について、わかりやすく表示ができること。
6	職員ごとの職員番号、氏名、年齢、採用年月日、職種、所属、職名について、同一ページ内で閲覧ができること。また、これらの情報以外にも任意の項目を設定し、登録できること。

権限設定	
1	次の4種類以上のユーザー権限の設定ができること。 1.一般ユーザー：自身の画面の閲覧等が可能 2.管理職ユーザー：自身及び配下職員の画面の閲覧、検索、集計、分析が可能 3.人事ユーザー：全職員の画面の閲覧、検索、集計、分析が可能 4.管理者ユーザー：全ての機能の利用が可能
2	管理者ユーザーは、各画面、各項目に対して、閲覧・編集権限を柔軟に設定ができること。また、複数人をまとめて設定ができること。

その他共通機能等	
1	市が使用している既存システム（人事給与システム等）の人事情報のマスタ情報及びその他の電子媒体のデータをExcel形式若しくはCSV形式により一括移行ができること。
2	上記データについて、一括アップロードでの更新ができること。
3	データ更新に際しては、一括取込に加え、差分取込ができること。
4	人事情報については、Excel形式もしくはCSV形式による月1回程度の一括更新入れ替えに加え、月途中の異動情報については、該当者のみ入力し更新することができること。
5	入力されたデータが職員番号等のコードを用いて各個別のデータに紐づけができること。
6	システム入力情報のデータをExcel形式若しくはCSV形式により一括出力ができること。

人事評価機能	
1	「能力評価」の評価要素は10項目以上設定できること。
2	「能力評価」のそれぞれの評価要素の結果から「能力評価」の合計点数が算出できること。
3	「業績評価」の目標は5項目以上設定できること。
4	「業績評価」は入力した目標について、目標レベル及びウエイト設定が行えること。
5	「業績評価」で設定した目標レベル及びウエイトから目標ごとに評価が算定できること。また、それぞれの目標の評価結果から「業績評価」の合計点数が算出できること。
6	「業績評価」は、定められた期間内において、目標の追加、変更が行えること。
7	評価者は、評価期間内に見られた被評価者の職務上の行動等について、システム上で記録することができること。
8	人事評価表の項目については、職位、職種、所属等に応じて個別にメンテナンス（項目の追加・削除）が可能であること。
9	設定されたルートに基づいて、提出できること。また、提出された人事評価表を設定されたルートに基づいて差戻できること。
10	設定されたアクセス権限に応じて人事評価表を閲覧できること（過去分を含む。）
11	各作業段階において、作成途中でも仮保存ができ、記入等の再開が出来ること。また、記入が完了した場合には確定することができること。
12	確定した内容については、限られたユーザーのみが修正ができること。
13	確定した内容について、管理者及び評価者から被評価者に対し修正のための差戻ができること。
14	人事ユーザーは人事評価表の各作業段階について作業の進捗状況を確認でき、評価者、被評価者へシステム上からメール等によるリマインド等の通知ができること。
15	被評価者と評価者を確認でき、また、評価入力内容について、一覧で入力内容の確認や評価できる画面を表示できること。また、保持しているデータは全てExcel形式もしくはCSV形式で出力できること。
16	人事評価表の様式はExcel形式、CSV形式で出力できること。

異動シミュレーション	
1	人事異動のシミュレーションができること。
2	人事異動日前、異動日後の組織を比較できること。
3	異動シミュレーションの前と後の任意情報を定量的に自動で比較できること。（平均年齢、対象資格保持者の人数、人件費など）

人材情報の抽出、分析、活用	
1	登録された人事情報を制限なく検索条件として使用できること。
2	基本的な検索機能として、次のことができること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ フリーワード検索（全文検索） ・ AND/OR条件検索
3	検索結果をExcel形式若しくはCSV形式により出力できること。
4	任意の人材情報を掛け合わせ、職員や組織情報の分析結果をグラフ、表等により表示でき、Excel等で出力できること。
5	時系列に蓄積されたデータをグラフで表示できること。
6	過去、現在、未来の組織図を作成し表示、出力できること。
7	集計したグラフや表をクリックすることで、該当する職員を一覧で把握できること。また、一覧から個人をクリックすることで、個人ページを表示することができること。